



The Reliability and Validity of the Alberta Infant Motor Scale in Japan

上杉, 雅之

(Degree)

博士 (保健学)

(Date of Degree)

2009-03-25

(Date of Publication)

2009-10-07

(Resource Type)

doctoral thesis

(Report Number)

甲4505

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/D1004505>

※ 当コンテンツは神戸大学の学術成果です。無断複製・不正使用等を禁じます。著作権法で認められている範囲内で、適切にご利用ください。



氏 名	上杉 雅之
博士の専攻分野の名称	博士（保健学）
学 位 記 番 号	博い第 4505 号
学位授与の 要 件	学位規則第 5 条第 1 項該当
学位授与の 日 付	平成 21 年 3 月 25 日

【 学位論文題目 】

The reliability and validity of the Alberta Infant Motor Scale in Japan （Alberta Infant Motor Scale の信頼性と妥当性に関する研究）

審 査 委 員

主 査	教 授	嶋田	智明
	教 授	高田	哲
	教 授	川又	敏男

論文内容の要旨

専攻領域 理学・作業療法学

専攻分野 基礎理学・作業療法学

氏 名 上杉 雅之

論文題目

The reliability and validity of the Alberta Infant Motor Scale in Japan.
(Alberta Infant Motor Scale の信頼性と妥当性に関する研究)

論文内容の要旨

Purpose: To investigate the reliability and validity of the Alberta Infant Motor Scale (AIMS) in Japan, and to determine whether the AIMS score obtained by pediatric physical therapists with different levels of experience differed. **Subjects:** The subjects who were assessed were 40 healthy infants (23 males, 17 females) whose parents gave their written consent to participation in this study. **Methods:** 40 healthy children were videotaped and evaluated using the AIMS by three physical therapists who were providing physical therapy for the children on weekdays and three physical therapists who were providing physical therapy for the children once per week. The AIMS and the Kyoto Scale of Psychological Development (KSPD) were administered to confirm criterion-related validity. **Results:** Reliability of the AIMS was good to high ($ICC = .86 \sim .99$), and the correlation between the AIMS and the KSPD was high ($r = .97 \sim .98$). Physical therapists with little experience in pediatric physical therapy could perform an assessment. **Conclusion:** Both the reliability and the validity of the AIMS were high. Level of pediatric expertise did not affect a rater's reliability.

Key words: Reliability, Validity, Alberta Infant Motor Scale.

指導教員氏名 嶋田智明

本研究の目的は本邦における Alberta Infant Motor Scale (AIMS) の信頼性と妥当性を検証することと、小児理学療法経験の異なる検者間による評価への影響の有無を調査することである。

AIMS は海外において標準化された運動発達検査であり、生後 0 ヶ月～18 ヶ月までの乳幼児を対象に粗大運動の成熟度を判別評価することを目的としている。

本研究の対象者は生後 0 ヶ月から 16 ヶ月までの健常児 40 名であり、AIMS の方法に従って検査された。検査者を経験年数 3～6 年目の毎日小児理学療法を提供している障害児施設の理学療法士 (以下 P T) 3 名と、同経験年数で週 1 回小児理学療法を提供している重度心身障害児施設の P T 3 名の計 6 名とした。

検査者は AIMS の検査方法を説明された後、対象の姿勢・運動が記録されたビデオを見て検査を行った。信頼性は検査者間信頼性と検査者内信頼性を級内相関係数と測定標準誤差を用いて解析した。妥当性は新版 K 式発達検査 2001 との併存的妥当性を調査してピアソン相関係数を用いて解析した。

その結果、重度心身障害児施設の P T の検査者間信頼性と検査者内信頼性はともに「良い」～「高い」($ICC = .86 \sim .99$) を示した。障害児施設の P T の検査者間信頼性と検査者内信頼性はともに「高い」($ICC = .93 \sim .99$) を示した。妥当性は両施設の検査者とも「高い」相関 ($r = .97 \sim .98$) を示した。また、小児理学療法経験の少ない検査者が検査を実施しても正確な検査が可能であることが示唆された。1) 信頼性と妥当性はともに高かったこと。2) 検査者は小児理学療法経験に関係なくビデオ観察を通じて検査することが可能であることが示唆された。

論文審査の結果の要旨

氏 名	上杉雅之		
論 文 題 目	The reliability and validity of the Alberta Infant Motor Scale in Japan (Alberta Infant Motor Scale の信頼性と妥当性に関する研究) (外国語の場合は、その和訳を併記すること。)		
審 査 委 員	区 分	職 名	氏 名
	主 査	教授	嶋田智明
	副 査	教授	高田哲
	副 査	教授	川又敏男
	副 査		印
要 旨			
本研究の目的は本邦における Alberta Infant Motor Scale (AIMS) の信頼性と妥当性を検証すると共に小児理学療法経験の異なる検者間による評価への影響の有無を調査することである。AIMS は欧米において標準化された運動発達検査であり、生後0ヵ月～18ヵ月までの乳幼児を対象に粗大運動の成熟度を判別評価することを目的としている。本研究の対象者は生後0ヵ月から16ヵ月までの健常児40名であり、AIMS の方法に従って検査された。検査者を経験年数3～6年目の毎日小児理学療法を提供している障害児施設の理学療法士(以下PT)3名と、同経験年数で週1回小児理学療法を提供している重度心身障害児施設のPT3名の計6名とした。 検査者はAIMSの検査方法を説明された後、対象の姿勢・運動が記録されたビデオを見て検査を行った。信頼性は検査者間信頼性と検査者内信頼性を級内相関係数と測定標準誤差を用いて解析した。妥当性は新版K式発達検査2001との併存的妥当性を調査してピアソン相関係数を用いて解析した。 その結果、重度心身障害児施設のPTの検査者間信頼性と検査者内信頼性はともに「良い」～「高い」(ICC=.86～.99)を示した。障害児施設のPTの検査者間信頼性と検査者内信頼性はともに「高い」(ICC=.93～.99)を示した。妥当性は両施設の検査者とも「高い」相関($r=.97\sim.98$)を示した。また、小児理学療法経験の少ない検査者が検査を実施しても正確な検査が可能であることが示唆された。これらの結果より、AIMSは信頼性と妥当性がいずれも高いこと、検査者は小児理学療法経験が特になくともビデオ観察を通じて十分検査可能であることが明らかとなった。 論文審査では、まず本研究の概要の説明に続き、研究動機・背景、AIMSに関する先行研究の概要と本研究の独自性、本研究成果のリハビリテーション医療への応用			

性・有用性および本研究の課題などについて質問し、学位申請者からそれぞれ適切な回答を得た。本研究は学位申請者が欧米で既に使用されているAIMSを我が国で最初に日本語に翻訳・導入し、その信頼性と妥当性を検証したものであり、その意味で小児リハビリテーション医療について重要な知見を得たものとして価値ある集積であると認める。よって学位申請者の上杉雅之は、博士(保健学)の学位を得る資格があると認める。

なお本研究は以下の雑誌に掲載された。

掲載論文名・著者名・掲載(予定)誌名・巻(号)、頁、発行(予定)年を記入してください。
 Uesugi M, Tokuhisa K, Shimada T: The reliability and validity of the Alberta Infant Motor Scale in Japan, Journal of Physical Therapy Science: 20(3): 169-175, 2008